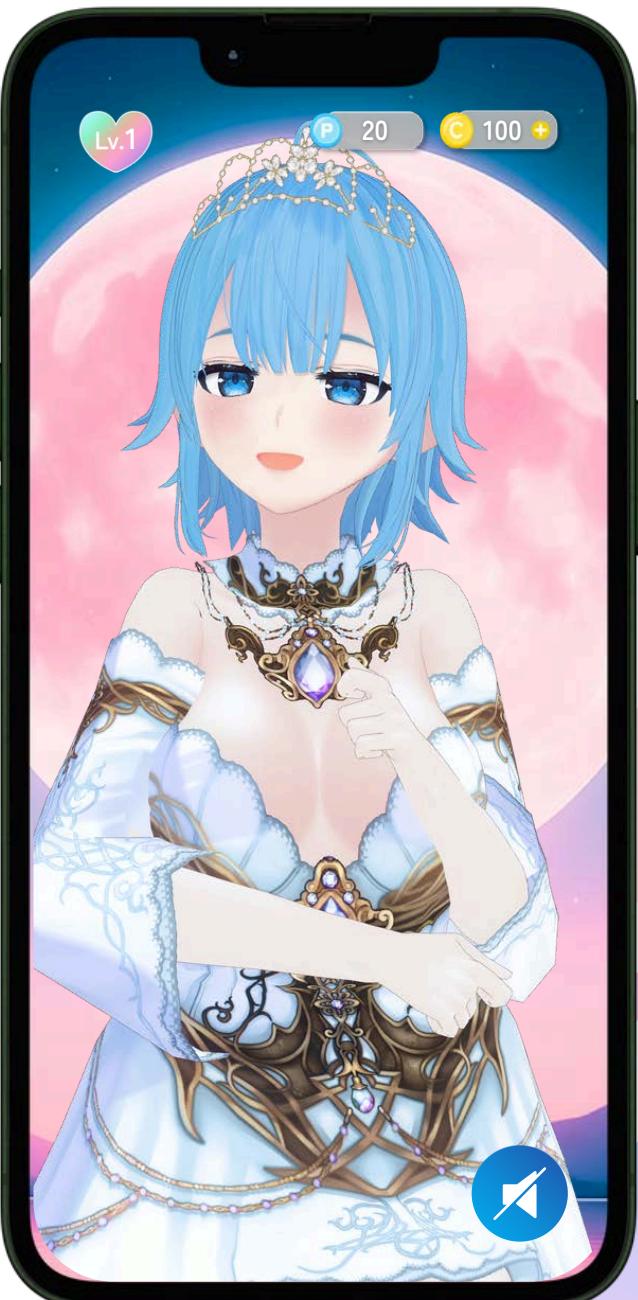


“孤独やストレス社会に寄り添う”
可愛いAIキャストが自然な音声と笑顔であなたに癒しを届ける！

特徴

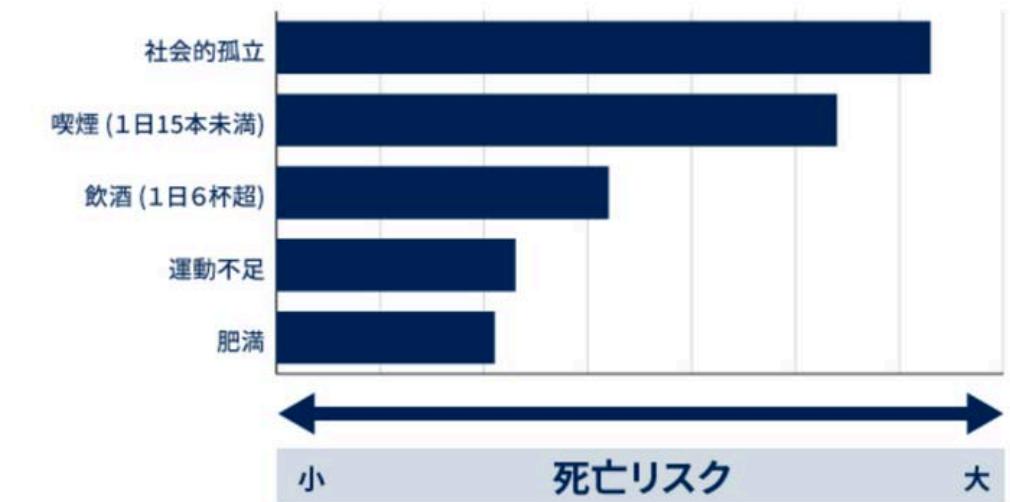
- 3Dキャラクターが専属パートナーとしてユーザーに寄り添った会話で癒しを提供 —
- 高精度な音声合成とアニメーションにより、まるで人と話しているような会話体験 —
- 仕事や趣味などユーザー属性を学習、理解し、パーソナライズされた会話体験を実現 —



孤立・メンタル不調が進む現代社会—顕在化する「孤独感」

- 40歳未満の約40%が「孤独を感じる」と回答。若年層での孤立感が顕著に上昇（全国調査2024）
- 相談相手がない、価値観を共有できる相手がないといった課題は、自己肯定感の低下や精神的ストレスにつながる

※右図→社会的孤立と死亡リスクとの関係（参考文献：東京海上ホールディングスHP）



—Fセク層*への理解と支援が新たな社会課題に

中・高・大学生がキャラクターに恋愛感情を抱いた経験あり（14～17%）※日本性教育協会の全国調査
20代半数近くがキャラに性的・恋愛的興味を抱くという調査結果も存在（性的魅力48.2%、恋愛魅力59%）

一方、「非現実対象への恋愛傾向」は、対人性愛中心主義という社会規範の中で周縁化されやすく、「架空キャラに惹かれることが異常」といった偏見が存在。結果として孤立感を抱えやすく、当事者の心理的負担が深刻化しやすい状況にある。

「孤独に対する代替的欲求」→包括的に配慮・支援



孤立を解消する、人格化AIキャストの常時パートナーエクスペリエンス



解決アプローチ

- 安心して本音で話せるパートナーの提供
- 「理解してくれる存在」との継続的な会話体験
- 感情的ニーズに応じた会話モードの搭載

提供価値

- 常にそばにいる「**理解者**」とのつながり
- 孤立感から解放される心理的ケア**
- 自己肯定感の回復と、日常生活の質向上**

最新研究（NTT×筑波大学2023）でも、AIとの対話が心理的ケアや自己肯定感向上に寄与する可能性が示されている

既存AIチャットとの違いと優位性

	Alsis	ベンチマークA	ベンチマークB
キャラクター	◎ 個性豊かで人格設定が緻密、感情変化や関係性の深化あり	○ 魅力的なアバターが多いが、人格性や関係深化は限定的	○ キャラクリ豊富（髪型・性格・声など30億通り+着せ替え）可能
アニメーション精度	◎ 表情・ロパク・ジェスチャーが音声と高精度同期	△ リアルな映像生成（リアルタイムリップシンク）だが、機械的	○ アバターが動き反応するが、静止画ベースで制限あり
応答の質	◎ 文脈理解+ユーザー属性を反映した自然な会話	○ 会話重視。高度なテキスト・雑談応答機能に強みあり	△ チャット式で自由な話題だが、応答内容が単純
音声（会話）の自然さ	◎ 高品質TTS+感情表現、状況に応じたトーン変化	○ 音声合成はあるが抑揚や感情が単調	△ アバターとチャットで会話できるが、音声は殆どなし
パーソナライズ	◎ 会話履歴・属性・好みを学習して最適化	△ 一部（ニュース配信・スケジュール反映）のパーソナライズあり	○ 外見・性格設定は自由だが、会話学習や進化は限定的

Alsisは「キャラアニメーション」「音声会話品質」「パーソナライズ」全てにおいて高いレベルのサービスで“癒し体験”“ユーザーとの関係性発展”を提供可能。